

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																															
札幌デザイン&テクノロジー専門学校		平成23年6月15日		佐藤博明		〒 060-0001 (住所) 札幌市中央区北1条西8丁目2-75 (電話) 011-280-2100																																															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																															
学校法人コミュニケーションアート		昭和63年3月31日		近藤 雅臣		〒 550-0013 (住所) 大阪市西区新町1丁目1-18-22 (電話) 06-6536-7161																																															
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																														
文化・教養	文化・教養専門課程	クリエイティブデザイン科				平成31年文部科学省 認定	—																																														
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、文化・教養専門課程を設置している。大きく変化を見せる社会の中で、AI関連やIoT等様々なテクノロジーの発展に呼応し、当該業界に関する専門的知識及び技能を修得させ、もってその分野で貢献できる専門家並びに指導者の養成を図ることを目的とする。																																																				
認定年月日	平成31年1月25日																																																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																														
3	年間	2700時間	0	3240	0	0	0																																														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																																
120人	96人	0人	1人	15人	16人																																																
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 基準: 各科目60点以上、総出席時間数の3分の2出席で合格。100～80点をA、79～70点以上をB、69～60点をC、59点以下をDとする。 評価の方法: 学科試験あるいは、実技試験、出席状況にて評価を実施																																																
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月20日 ■冬季:12月24日～1月8日 ■学年末:2月29日			卒業・進級条件	卒業要件: 2700時間/180単位以上を修得し、卒業判定会議にて承認された場合 進級要件: 1年次57単位、2年次57単位以上、を修得し、進級判定にて承認された場合																																																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長欠者への指導等対応 ・担任制度・三者面談・SSC(学生相談センター)			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 同好会・学園祭等の実行委員活等																																																
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) アパレル会社・ゲーム会社等			主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																																
	■就職指導内容 ・就職対策授業・校内企業説明会の実施・就職担当個別面談 ・身だしなみ指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																																		
	■卒業者数 10 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 6 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 60 %				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																																
	■その他 ・進学者数: 0人				■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																																																
	(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)				0																																																
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和4年4月1日時点において、在学者71名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者69名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 心神喪失のため			■中退率 3%																																																	
	■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、学費相談(分割納入や延期納入)、スクールカウンセラー、保護者面談、三者面談、補修、課題提出																																																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 0 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0																																																				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

「教育課程編成委員会」は、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫を行うなど、企業様の要請に応じ職業教育が行われていることを評価していくものとして、企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、演習、実習、実技を実施する。企業等の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育が主体的に実施されていること方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置されている。よって、学校が編成した教育課程案は、教育課程編成委員会に付議し、必要な場合は、評議委員会において決議される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年8月25日現在

名前	所属	任期	種別
榑谷 稔	北海道eスポーツ協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
小野 真弘	株式会社インフィニットループ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
住 泰一郎	北海道IT推進協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
谷本 智之	株式会社エクスデザイン	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
佐藤 博明	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
清水 敬博	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
渡邊 康祐	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
津田 祐太	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
市川 貴子	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月18日 14:00～15:00

第2回 令和5年3月24日 14:00～15:00

第1回 令和5年7月26日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

令和2年第1回教育課程編成委員会では、教育課程編成委員に現状カリキュラムを「企業ニーズを反映した実践的かつ専門的な人材育成」という観点でご確認いただき、ご意見をいただいた。令和2年第2回では、第1回での意見を踏まえ、新たな授業の開設やシラバスの改善などを反映したカリキュラム案について確認、ご承認いただき、次年度カリキュラムとした。

企業等委員の意見

・自分で課題を見つけ、自分で改善策を考え、自分の言葉でプレゼンテーションするスキルの向上

・映像コンテンツの需要にともなう、授業シラバスの見直し

→「ビジネススキル」のシラバスを改定しプレゼンテーションをする機会を増やした。「映像技術」のシラバスを、より高い映像編集スキルを習得できるよう改定した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界とともに育成する(産学連携教育)という考えのもと、業界の方から直接学生が目指す職業に必要な知識・技術を指導している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業プロジェクト・企業課題や企業研修などを通じて、目指す職業に必要な知識・技術を習得させる。直接業界の方に指導並びに作品審査や評価をいただき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ADデザイン	広告業界で仕事をするために必要な知識から広告宣伝まで体系的に習得する。	Hiroe DESIGN

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

研修対象は一般教員、学科長及び教務部長とし、ここの教育経験、在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた到達目標、研修方法並びに、評価指標を定めて実施。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: DX推進研修

連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和4年5月16日(月) 6月3日(金) 7月22日(金) 9月7日(水)

対象: DX推進担当教員1名

内容 学校業務において、DXを加速するために担当人材の育成を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 進路アドバイザー研修

連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和4年8月26日

対象: 進路アドバイザー担当

内容 学校生活不全を訴える学生に対して、進路変更を検討・推進する担当者の養成を行う。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: DX推進研修

連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和5年6月19日(月) 7月24日(月) 9月22日(金)

対象: DX推進担当教員1名

内容 学校業務において、DXを加速するために担当人材の育成を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 進路アドバイザー研修

連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和5年8月29日(火)

対象: 進路アドバイザー担当

内容 学校生活不全を訴える学生に対して、進路変更を検討・推進する担当者の養成を行う。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生代表、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった。自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に生かすことを方針としている。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

職業人教育を通して社会に貢献できるよう、健全な経営基盤を持つ学校運営を目指す。そのために、学校評価委員会の委員からの意見を踏まえて、教育活動・環境の充実や学生支援の強化などを改善している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
清水 菜々香	卒業生	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生代表
寺田 かおり	在校生保護者	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	保護者代表
大柳 依里	東海大付属札幌高等学校	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
塚本 澄雄	中央地区第4町内会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域関係者
榎谷 稔	北海道eスポーツ協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
小野 真弘	株式会社インフィニットループ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
住 泰一郎	北海道IT推進協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
谷本 智之	株式会社エクスデザイン	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.sba.ac.jp/school/public_info/pdf/09_appraisal_sba.pdf

公表時期: R5.4.1

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の運営状況や教育活動等の情報をホームページにて公開するほか、事業計画の実行方針において提起された目標を具体化するために、企業などから意見聴取を行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成している。具体的な事例として、講師会等にて企業課題や授業科目、内容について検討を重ね、意見を反映させてから、様々な企業との連携を図っている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策方針、定員、在校生数、卒業生数、カリキュラム(教科課程表)、クラブ、その他、卒業・進級判定基準、卒業と同時に取得する称号、学習の成果として取得を目指す資格・合格を目指す検定等、資格取得・検定試験合格の実績、卒業生の進路、主な就職先
(2) 各学科等の教育	
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	産学連携教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	設備紹介、海外実学研修、海外専門留学
(6) 学生の生活支援	中途退学者防止への取り組み/中途退学状況・進路変更委員会・SSC
(7) 学生納付金・修学支援	学費一覧、奨学金・教育ローン案内等
(8) 学校の財務	財務資料
(9) 学校評価	学校関係者評価委員会
(10) 国際連携の状況	留学生支援、留学生受入状況、海外提携校との交流状況
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.sba.ac.jp/school/public_info/

公表時期: R5.4.1